

警報等の発表時における安全確保について

1 暴風警報・暴風雪警報，大雪警報に対する対応

発表された場合		解除された場合	
時刻	対応	時刻	対応
7：00まで	自宅待機 (注1)	7：00まで	通常通り登校 (注2)
登校後	学校は状況を判断し，必要な措置をとる (注3)	7：00を経過	臨時休校

(注1) 自宅待機の際の留意点について

保護者が家庭にいない児童については，平素から最寄りの知人等に保護をお願いしておいてください。

(注2) 登校の際の留意点について

通学路の安全を確認し，平常通り授業が実施されるように努めますが，解除後も災害が著しい等，登校に危険が予想される場合は，臨時休校，登校時間を遅らせる措置をとります。

なお，大雪の場合は，大雪警報が解除された後も積雪等の状況により登校が困難になることも想定されるため，学校の判断で臨時休校等の措置をとる場合があります。

(注3) 授業中に次の警報・注意報が発令された場合は，以下のような措置を取ります。

○暴風警報・暴風雪警報・大雪警報の場合

通学路における危険個所の安全，周辺の風雨の状況，災害の状況を確認し，下校に際しての安全が確認できた場合は帰宅させます。ただし，安全確認ができていない場合は，学校に待機，又は保護者への引き渡し等の措置を取ります。

○台風の進路等により暴風警報発表が予想される場合は，地域的差異や学校のおかれている諸条件からみて，各校の判断で発表前でも速やかに帰宅させることも検討します。

○台風の予想進路等状況によっては，暴風警報等の発表が予想される前日より，市教育委員会から翌日の臨時休校等の措置を小中学校に連絡す場合があります。学校は，下校時までに児童に直接連絡をします。

2 特別警報（大雨・暴風・高潮・波浪・暴風雪・大雪）、大津波警報、

震度5強以上の地震発生、噴火警報に対する対応

発表された場合	
時刻	対 応
登校前	<p>臨時休校 （*津波・高潮・波浪に関しては対象地区のみとするが、対象地区以外でも、命にかかわる危険が迫ることが予想される場合は公的機関の指示や各自の判断に委ねる）</p> <p>○登校はせず、市災害対策本部など、公的機関の指示に従い、身の安全の確保に努める。（ただちに命を守る行動をとる） （具体的には）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の状況に注意して速やかに避難場所へ ・外出が危険な場合は家の中の安全な場所へ（津波・高潮・洪水・土砂災害以外）
登校後	<p>学校待機 ○児童生徒の身の安全を確保するとともに、避難場所への速やかな誘導や校内の安全な場所への移動など、必要な措置をとる。（ただちに命を守る行動をとる） （注4）</p> <p>*保護者と緊密な連絡をとる等適切な処置をとり、安全確保の上で出迎えの保護者に引き渡す。</p>

※ 特別警報解除後（翌日以降）は、周囲の状況に注意して登下校を行いますが、状況に応じて、校長の判断で臨時休校の措置をとります。

※ 登校後に特別警報が解除された場合は、その後の気象状況等の情報を収集し、通学路等周囲の安全を十分に確認した上で、保護者の出迎えなども含めた適切な下校措置をとります。

（注4）

【震度5強以上の地震発生、噴火警報の場合】

○ ただちに身の安全の確保に努め、保護者または保護者代理の出迎えのあるまで学校に待機し保護します。その後、市災害対策本部など、公的機関の指示に従います。

※ 保護者代理の方にお問い合わせする場合は、あらかじめ緊急時引渡しカードに登録をお願いします。

※ 警報・注意報の発令や解除に対する対応は、「すぐメール」を使って情報を発信します。

- 3 大雨や洪水などの気象に関する警報，大雪注意報，竜巻注意情報、雷注意報等の対応
学校や周辺地域の状況を的確に把握し，教育委員会と連絡の上，校長が安全確保のため必要な措置をとります。

大雪注意報発表時において，積雪により登校が困難な場合は，「大雪警報に対する対応」に準じ，臨時休校等の措置をとります。

- 4 弾道ミサイルが飛来した場合

【三重県にJアラート等を通じて緊急情報発信があった場合の対応】

- ①登校前に緊急情報が発信された場合は、自宅待機とします。
- ②在校中に「Jアラート」による発信があった場合は，児童に迅速な避難行動を指示します

【弾道ミサイルが着弾した場合】

- ①市内及び近隣市町に着弾した場合は，「臨時休校」の措置をとります。
- ②在校中に学校の近くに着弾した場合は，速やかに児童の安否を確認し，必要に応じて保護者への安否情報の伝達等を行います。